

2007年11月例会教育より

## ITC のころ

私達は ITC のメンバーとして日々、月々クラブの方々とコミュニケーションを持ち、その中から沢山のことを学ばせて頂いています。

「ITC のころ」ITC の信条というものが組織の中心にデンとあるはずです。それは何でしょうか。

昨年からさかんに PowerTalk という事が言われています。これについてお話ができるとよいのですが、まだ不勉強で一向に自信がなく又の機会どなたかに教育して頂くとして、私はごく古いメンバー（といってもチャーターメンバーではないのですが）の一人として ITC 創設者の心と私が入会させて頂いた時、オリエンテーションで教えていただいた一つの言葉について私見も加えてお話いたします。

まず ITC 創設者アーネスティン ホワイト女史の有名な言葉があります。去る10月30日のカウンスル例会の教育の中で山田千恵子さんが読み上げて下さいましたものです。1939年8月にアメリカ カリフォルニア州で開かれた第一回トーストミストレス大会で創設者のアーネスティン ホワイト女史によってなされたスピーチの冒頭部分にある言葉です。「**グループの進歩は、その中の個々のメンバーの発展向上の集計であり、またグループの成長は自己啓発のための刺激となる。**」70年経った今も、この言葉に何の疑問をはさむ余地はありません。グループとそれに所属する個人との関係を適確に言い当てています。そして個々のメンバーの発展向上とは、個人個人の**行動と言葉**の向上だと言っています。

第二番目の心にうつります。ホワイト女史は更に続けてこのように言っています。「**今日があなたの人生の最後の日であるかのように生きなさい。そしてあなたが永久に生き続けるかのように学びなさい。**」永久に生き続けるかのように学ぶ。すごい言葉ですね。私はこの言葉に一つの光景を思い出します。私事で申し訳ないですが、義父が60歳をすぎた頃だと思えます。義父の目に入れても痛くない初孫の私にすれば姪が小学校低学年でした。義父はいつも家では机に向かって本を読み筆を手に手習いなどしていました。姪が「おじいちゃんはどうしてお習字なんかするの?」と言ったのです。そばにいた母や私達はハッとしました。すると父はニコニコと孫を抱きよせ「手習いすれば今日より明日の方が上手な字が書けるやろ」と言ったのです。それまで気むづかしい堅苦しい人だと父を思っていたのですがこの日以来、前ほど苦手ではなくなりました。死ぬ日に近づく程自分が向上すると思えばどんなにいいでしょう。でも寝転んでいては向上しません。ITC というところはイヤでも何かに挑戦せざるを得ないような場を与えてくれます。それも殆ど毎月です。有難いところです。

はじめのフレーズ「人生の最後の日であるかのように生きなさい」本当にそうです。ため息ばかりが出ます。一日を終えて今日が人生の最後の日であるかのように生きたと言える日は私の78年の人生の中で皆無でしょう。お恥ずかしいです。皆様はいかが？こんな恥ずかしい事をしてしまった、明日誤らなければならない。お礼を言うのが今日できなかった。明日しょう。今晚死んでしまったらどうするのでしょうかね。持物の整理などとてもとても身の廻り、机の上の整頓さえ明日あしたです。ホワイトさんから言葉を頂いたばかりに反省反省の毎日を過ごしています。

もう一つ、私にとって ITC の心といえる言葉があります。28年程前 ITC に入会させて頂いてオリエンテーションを受けました。ITC とは、、、に始まり、メンバーとしての心得、例会の準備、服装、マナーにいたるまで細かく教えて頂きました。その中に「決して言い訳をしない」という項がありました。この役に当たってくださったのは野村美智子さんだったかなと思います。「言い訳をしたらあきまへん」と一応優しい京言葉の奥に決して「許さしまへんで」という厳しさが漂っていました。私はびっくりしました。その日迄の私は言い訳は日常茶飯事、言い訳はその内容が自分と相手を納得させるものであり、言い方に気をつければゴメンナサイに代わるものだと考えていたのです。「とても道が混んでいて15分で来られるところを30分もかかってしまいました」がチョコの言い訳。「昨日急に孫が来たのでスピーチの準備ができなかった」が下手なスピーチの言い訳というわけです。そうでなくて「ごめんなさいチョコしました」と言いなさいと教えて頂きました。それ以後私はナルベク言い訳しないようにしています。でも家族や友人の前でああこれは言い訳だと恥じながら言っている時もあります。皆さんはいかがでしょう。

先日はメディアが言い訳を取り上げていましたね。例の福田首相と小沢民主党代表の会談のあと、いわゆる大連立が破談になった時のことです。小沢党代表が口にした「私は不器用でロベタな東北気質の人間です」という発言をいくつかのメディアは小沢さんは言い訳をした。首相は言い訳をしなかったと報じたのを一寸興味深く聞きました。

ITC のところは、もっと沢山、もっと奥深くあると思います。今日の3つの心を糸口にして ITC がかけの信条をよく理解し皆で近づいて行く努力をいたしましょう。

2007年11月例会教育 小谷貞子作成